

北海道発信のイノベーション 脱炭素農業×知財戦略



【NDL】とかちセミナー申し込みフォーム



Microsoft Copilotによる画像です

合同会社ノースDXラボ(NDL) ～とかちセミナー～



【概要】

日時 2025年2月12日 14：00～17：00

※各セッション一部のみの公聴も可

場所 LAND

帯広市西2条南11丁目12番地1天光堂ビル1階

参加無料

申し込み <https://forms.office.com/r/PLBd6zbDnj>

Tel. 090-7183-6969

共催：神上コーポレーション株式会社

【進行】

開催の挨拶 14：00～14：10

1 脱炭素 14：10～14：40

2 知財 14：50～15：20

3 NDL 15：30～16：00

4 意見交換会 16：30～

5 交流会：フリーディスカッション/名刺交換

※発表間10分の休憩をとります

【プログラム】

1. 脱炭素農産物推進協議会の紹介とその販路拡大 都筑 憲一

I 農林水産業でCO2削減
CO2吸収可能な唯一の産業

II 脱炭素農産物認証制度
成果を明確、販路を確保

III 推進のための方法例
新型マルチ、バイオ炭、中干、
緑肥 など

IV 脱炭素農産物推進協議会
協議会が目指す農産物の
可能性

【プログラム】

2. イケてる企業はなぜ「知財」 にこだわるのか？ 中谷 明浩

I 知財＝知的財産とは
「知財」と「特許」何が違う？

II 「特許」のチカラ
特許が有する驚愕のパワー

III 企業知財部の仕事
元企業知財部員が語る
「知財部の素顔」

IV 企業戦略の根幹
「知財戦略」と「知財情報」

【プログラム】

3. ノースDXラボ紹介と提案 平池 学

I ノースDXラボの目指す先
データを活用して北海道
農業の省力化/効率化を推進

II 数値で“見える”生産へ
生産情報を数値で“見える”
かたちにして次に生かす

III プロジェクトのご紹介
「Well-Farm M (WFM)」
データによる最適化で“Well-
Being”を実現、健康経営へ

4. 意見交換会
5. 交流会

本セミナー発表者/司会 紹介

【略歴】平池 学

- 現在：合同会社ノースDXラボ CEO
- ・株式会社テクノプロ 札幌サテライト代表技術者
- ・日本ピーマック株式会社 技術部 主任（機種リーダー他）
高COP（冷暖房平均エネルギー消費効率）機種開発
クリーンルーム用高効率送風機器開発
- ・北海道工業大学（現 北海道科学大学）卒 機械工学科
- ・札幌月寒高校卒



【略歴】中谷 明浩

- 現在：中谷技術士事務所 代表技術士

<https://nakatani-peoffice.com/>

合同会社ノースDXラボ CTO

- ・技術士（農業部門）
- ・AIPE認定 知的財産アナリスト（特許）／エネルギー管理士
- ・株式会社J-オイルミルズ
生産技術部／研究所／知財戦略部（課長代理）
- ・旭川工業高等専門学校・工業化学科卒



中谷技術士事務所
Nakatani Professional Engineer Office



【略歴】鈴木 崇司

- 現在：神上コーポレーション株式会社 代表取締役CEO

<https://kohgami.co.jp/>

合同会社ノースDXラボ CSO

合同会社Gallop CTO

- ・共同技研化学 技術部/品質保証部/営業 次長（統括）
- ・富士通株式会社 モバイルフォン事業部 第五技術部（機種リーダー他）
世界最薄最軽量防水端末開発※当時
- ・北見工業大学大学院卒 工学部 機能材料工学専攻（修士）
- ・網走南が丘高校卒



【略歴】都筑 憲一

- 現在 一般社団法人 脱炭素農産物推進協議会 代表理事
- ・株式会社H.Eファーム 取締役社長
創業3年で認証輸出事業者に成長
全国最多の垂直式営農型太陽光発電農地法3条許可取得
- ・長万部アグリ株式会社 取締役社長
ミニトマトでデータプレミアムNo.1（日本一）獲得。
ECサイト構築による企業価値創出
- ・宮崎大学大学院 農学工学総合研究科 博士課程中退
冷涼地での台木を用いたブルーベリー養液栽培における機能性の検証
- ・農学修士
- ・福島県立会津高等学校卒業



【プログラム】一部抜粋

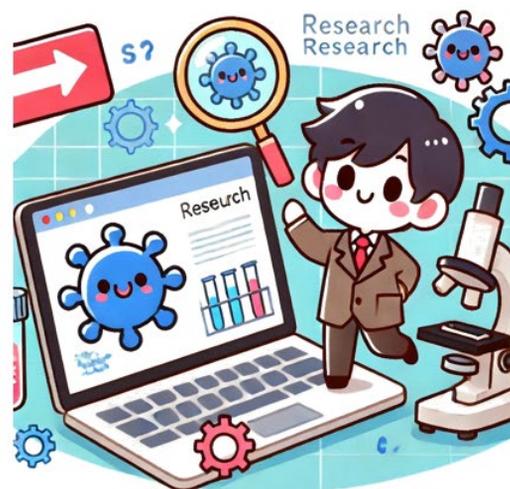
ノースDXラボ紹介と提案

平池 学

ノースDXラボとは



ノースDXラボの目的



2024/12/20

©2024 North DX Lab Inc. All Rights Reserved.

1

プロジェクト『WFM』



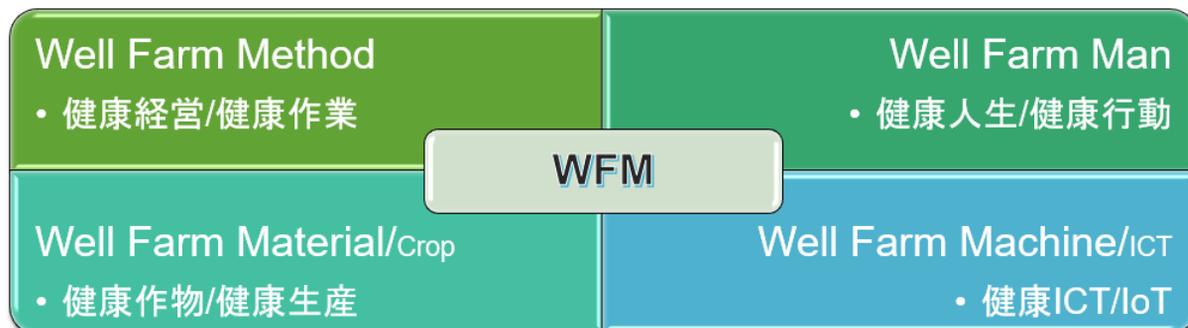
DXの活用でウェルビーイングを推進、生産者の幸せと健康を創出します

Well-being = 『個人や社会的に「良い状態」』

「良い状態」:心の充実, 健康維持, 社会とのつながり...

『WFM』

IoT/ICT技術で圃場データとパーソナル(生産者)データの取得、推測型AIを用いた最適化による健康管理や事前察知などを行うシステムサービスです。



2024/12/20

©2024 North DX Lab Inc. All Rights Reserved.

3

内容は変更になることがあります

【プログラム】一部抜粋

イケてる企業はなぜ「知財」にこだわるのか？

中谷 明浩

Ⅱ 「特許」のチカラ～特許が有する驚愕のパワー～

特許は、
事業を潰す力を持っている。
逆に、
事業を守る力を持っている。



Ⅳ 企業戦略の根幹～「知財戦略」と「知財情報」～

IPランドスケープとは

Intellectual Property = 知的財産 = 特許だけではない！

IPランドスケープ

Landscape = 景色、風景、見晴らし、眺望



IPランドスケープとは、
「経営戦略又は事業戦略の立案に際し、(1)経営・事業情報に知財情報を取り込んだ分析を実施し、(2)その結果(現状の俯瞰・将来展望等)を経営者・事業責任者と共有すること」

特許庁ホームページ「経営戦略に資する知財情報分析・活用に関する調査研究」

【プログラム】一部抜粋

脱炭素農産物推進協議会

の紹介とその販路拡大

都筑 憲一

脱炭素農産物認証制度

(2023年12月制定)



STEP1

生産に係る温室効果ガス排出の基礎知識を習得し、自身の排出量の数値化を行う…(GHGプロトコルによる算定証明*業界初)

STEP2

数値化した排出量から削減計画を策定する(7年間を基本とする削減計画)…(STEP1取得から500日以内、削減実績%を公開)

STEP3

削減計画を基に、PDCAサイクルを回しながら目標年に脱炭素を達成する

* 青字は2024年9月に追加(制度改正は年1回)

知識習得
排出量数値化

①
個人で数値化は困難

排出量削減計画の策定

②
削減計画策定コンサル
中小企業…数百万円
大企業…1億円超

削減目標達成

③
頑張った成果=販路

更なる削減・付加価値
持続的な取組

④
カーボンネガティブ
多方面での販路・価値
創出

協議会の目指す未来

①農業からの温室効果ガス削減

②農産物購入による削減

Scope3カテゴリ1「購入した製品・サービス」のカウントを削減できる
例:スーパーでの青果物仕入、自治体でのふるさと納税返礼品、企業の社食

③カーボンの引き受け

旅行業での排出量削減
例:宿泊先近隣で農作業を観光客が行うことでScope3カテゴリ7の「人件費」として排出量を引き受けすることができる。

④世界の食の安全保障

自国で農産物を自給できない国において、輸入先国の排出量は今後課題となる。輸送を含め、排出量の少ない農産物を輸入することで自国の排出量削減を可能にする。
日本であればアジア・オセアニア経済圏での農産物流通を効率化・削減施策を共有することで平和的な食の安全保障を構築できる。

脱炭素農産物の可能性